

## がん検診は、どこで受けられるの？

がん検診は、市町村やお勤めの事業所、ご加入の健康保険組合等で受けられます。  
 詳しくは市町村やご加入の健康保険組合等のがん検診担当部署にお問い合わせください。  
 (実施方法、費用などは自治体等ごとに異なります。)

## 市町村が実施するがん検診の問い合わせ先

※代表番号の場合は、「がん検診の問い合わせ先」をお伝えください。

市町村名	電話番号	市町村名	電話番号
横浜市 コールセンター [横浜市けんしん 専用ダイヤル]	045-664-2606	秦野市	0463-82-9603
川崎市 川崎市がん検診 ・特定健診等 コールセンター	044-982-0491	伊勢原市	0463-94-4616
相模原市 コールセンター	042-770-7777	厚木市	046-225-2201
横須賀市	046-822-4307	海老名市	046-235-7880
藤沢市	0466-50-8430	座間市	046-252-7225
茅ヶ崎市	0467-38-3331	愛川町	046-285-2111(代)
鎌倉市	0467-61-3942	清川村	046-288-3861
逗子市	046-873-1111(代)	大和市	046-260-5662
葉山町	046-876-1111(代)	綾瀬市	0467-77-1133
三浦市	046-882-1111(代)	小田原市	0465-47-4724
寒川町	0467-74-1111(代)	箱根町	0460-85-0800
平塚市	0463-55-3700	真鶴町	0465-68-1131(代)
大磯町	0463-61-4100(代)	湯河原町	0465-63-2111(代)
二宮町	0463-71-7100	南足柄市	0465-74-2517
		中井町	0465-81-5546
		大井町	0465-83-8012
		松田町	0465-84-5544
		山北町	0465-75-0822
		開成町	0465-84-0327

## がん検診クーポン券等のご利用を

子宮頸がん・乳がん検診については、市町村によってはがん検診を無料または低額で受けられるクーポン券等をお送りしています。市町村により、対象となる方や検診の種類が異なりますので、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。クーポン券等を積極的に活用し、がん検診を受診しましょう。

詳しい情報はこちらへ▶ [神奈川 がん検診](#) 検索



# 受けましたか？ がん検診

いまやがんは、2人に1人になる時代です。  
 検診で見つかった場合と、  
 自覚症状がでてから見つかった場合とでは、  
 5年後の生存率に大きく差がでます。

だから、がん検診！

あなたのため、大切な人のため、受診しましょう。



# がんは 誰でもかかる可能性がある病気 元気だと思っているうちから 検診を受けましょう



がんは、早期の段階では痛みなどの自覚症状がありません。

“自分は健康だから大丈夫”、その油断こそ大敵です。

一方で、治療技術の進歩により、がんは早期の段階で発見できれば、多くは治る病気になってきています。

## 主ながん検診の種類

検診の種類	検診の内容	受診間隔	対象
胃がん	問診に加え、内視鏡(カメラが付いたチューブ)を口や鼻から挿入し、胃の中を直接観察します。または、バリウムを飲んで胃のX線写真を撮ります。(※)	2年に1回 <small>※ 当分の間、胃部X線検査については年1回実施可</small>	50歳以上男女 <small>※ 胃部X線検査については40歳以上男女</small>
大腸がん	問診に加え、採取した便に潜血があるかどうかを検査します。	年1回	40歳以上男女
肺がん	問診に加え、 <small>かくたん</small> 肺のX線検査及び喀痰細胞診をします。	年1回	40歳以上男女
子宮頸がん <small>けい</small>	問診、視診、細胞診(子宮の頸部から細胞を取って顕微鏡で検査)及び内診をします。	2年に1回	20歳以上女性
乳がん	問診及び専用の装置(マンモグラフィ)により、乳房のX線写真を撮ります。 ※ 視診・触診は推奨されていません。	2年に1回	40歳以上女性

## がん検診での早期発見が キーポイント!

がんは、検診で見つかった場合と、検診以外で見つかった場合とでは5年後の生存率が大きく異なります。例えば全部位の場合、検診以外でがんが見つかった場合は約6割なのに対し、検診で見つかった場合の生存率は約9割です。

定期的な検診による早期発見・早期治療が、がんを治すカギです。

## 精密検査が必要な場合は 必ず受けましょう

もし“がんの疑いあり”とされた場合は、精密検査を受ける必要があります。

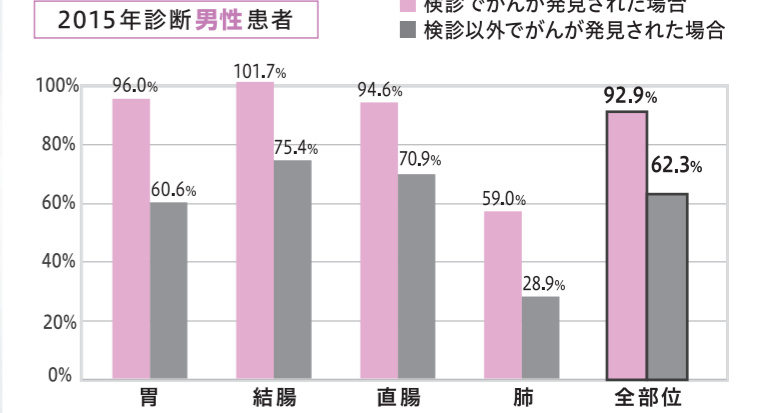
精密検査が必要とされた人のうち、実際にがんが発見される人は1～5%程度に留まります。万が一がんが見つかって、早期であるほど治療にかかる費用や身体への負担も少なくて済みます。

## 肝がんの予防のために 肝炎ウイルス検査も 受けましょう

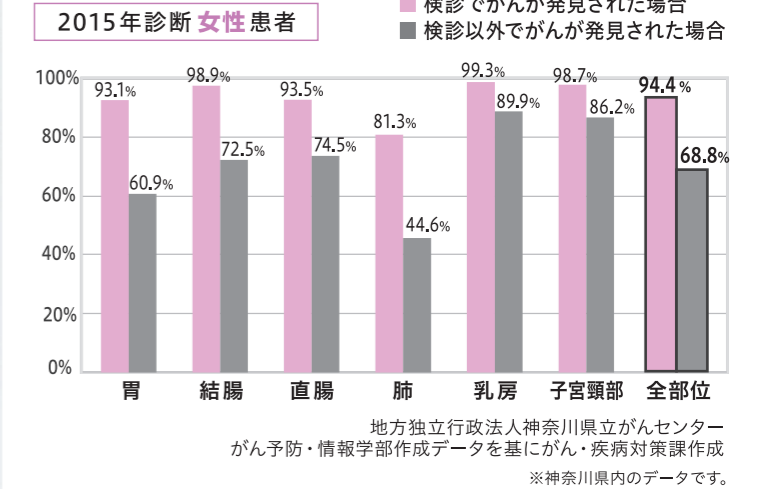
肝臓は“沈黙の臓器”と呼ばれ、肝炎にかかっても自覚症状はほとんどなく、肝硬変や肝がんへと重症化する心配があります。

肝がんの原因の約8割は、B型肝炎ウイルス、またはC型肝炎ウイルスの感染によるものです。肝がん予防のためにも、肝炎ウイルス検査の受検の有無及び検査結果を確認しましょう。

## がんの5年相対生存率



## がんの5年相対生存率



## 新型コロナウイルス感染症が気になって、がん検診の受診を控えていませんか?

がん検診は、がんを早期に発見するためにとっても重要です。がん検診の会場では、感染防止対策を講じていますので、受診を控えることなく、がん検診を受けましょう。

